

JAえんゆう広報誌

ひざし

2022 1

No. 275

謹賀新年

ひざし

2022.1月号 No. 275

◆今月の主な記事◆

◎新年のご挨拶

えんゆう農業協同組合

代表理事組合長 関口 哲治…2

網走農業改良普及センター遠軽支所

支所長 小川 邦彦…4

北海道農業協同組合中央会

代表理事会長 小野寺俊幸…5

JAえんゆう青年部

部長 長谷川雄基

JAえんゆう女性部

部長 北村 広子…6

◎一日ホクレンが開催されました

◎季節の室礼(しつらい) ……7

◎女性部フレッシュミズ合同研修会

◎女性部畑作部会研修 ……8

◎一日皆貯金 当選者発表 ……9

◎令和4年度

営農計画作成支援日程 ……10



今月号の「いもたま作造くん」
はお休みさせていただきます。

「クロスワードパズル」「当選者発表」
「読者の声」は休載させていただきます。



組合長新年のご挨拶

えんゆう農業協同組合

代表理事組合長

関口

哲治



謹賀新年

令和4年 元旦

えんゆう農業協同組合

代表理事組合長 関口 哲治
代表理事専務 菅井 誠
理事 菅内 秀幸
阿部 和彦
八巻 武則
横尾 俊雄
岡和田 博
松浦 健治
高橋 敬貴
古関 則一
情野 修
城岡 克利

組合員の皆様、並びにJA役職員の皆様におかれましては、ご家族の皆様と共に輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

一昨年から新型コロナウイルスとの戦いが長期化し、年末には新たな変異株オミクロン株が発見されるなど、日常生活が元に戻りきらない一年でありました。農業分野ではイベントの自粛や観光と外食の需要減少等の影響により、各作物、特に乳製品については消費が落ち込み昨年下半年から対策が協議され、処理不可能乳の発生回避に向けた消費拡大運動には、皆様の多大なご協力を賜りました。

また、国内における異常気象での被

害は、梅雨前線の影響から局地的豪雨で、土砂災害・河川氾濫が発生し、多くの人命が犠牲になり、被災された地域の方々には心よりお見舞い申し上げます。一方、北海道並びに管内は、高温干ばつで大変暑い夏となりましたが、生活に影響を与えるような災害はなく、総じて穏やかな年となりました。

当地域の天候を振り返りますと、三月初旬からプラス気温で融雪が進み、四月上旬は二桁気温が続ぎ、早目の春作業となりましたが、下旬は低温と雨が続き、移植作業等は中断されました。五月は、曇天・低温・降雨の日が多く、デントコーン播種の遅れ、作物全般の生育が心配される天候でした。六く七

月は一転して、ほとんど雨は降らず異常な高温干ばつになり、飼料作物を含めてほぼ全ての作物の生育が心配されました。八月は、猛暑も落ち着き待望のまとまった雨もあり、作物の生育は回復傾向に向かい、収穫期の九く十月は、天候に恵まれ順調に収穫作業が進み、夏の干ばつで多くの作物が減収になったものの、無事に収穫を終えました。

昨年は記録的な干ばつで、長期間に亘り連日の灌水作業に防除と、大変ご苦労が多かった年でしたが、組合員皆様の肥培管理技術により、減収が最小限で済みました事に、改めて敬意を表するところです。

畑作の状況につきましては、記録的

な高温干ばつで、灌水作業ができる地区とできない地区で大きく差がありました。八、九月の降雨により後半は生育が回復し、総体的に二、三割程の減収となりました。平均反収では、小麦計画8俵に対し8.4俵、玉葱計画4.2基に対し4.8基、甜菜計画5.1トに対し5.3ト、糖度16.7度、馬鈴薯計画3.4トに対し2.7ト、ブロッコリー計画822kgに対し685kg、立茎アスパラ計画784kgに対し999kg、南瓜、スイートコーン、大豆、青シソについても残念ながら概ね二割の減収となりました。そのような中、基幹作物となつています玉葱については、全道的な不作と輸入が困難な状況が重複し、非常に高い価格で取引されている事は、大変喜ばしい事です。

また、酪農については、当JAの乳価は加工原料乳補給金等を含め税込で104円、十一月末出荷乳量が前年同月比102.48%と増産になつておりますが、新型コロナウイルスを起因とする観光・外食産業の低迷から消費が落ち込み、脱粉バター在庫量が過去最高になつていて、連動して乳牛個体販売価格も下がる等、減産仕向けではないものの数年ぶりの厳しい情勢となつております。また、昨年の粗飼料生産状況につきましては、一番牧草は雨にあたらず良質で収量も平年並みとなりましたが、二番・三番牧草とデントコーンは干ばつにより地域によつては三割以上減収になつた所もございました。幸いにして、前年の在庫飼料、近隣生産者との譲渡、JAも外部からDCサイレージを調達して対策する等、

深刻な粗飼料不足は避けられたのではないのでしょうか。

JAの哺育育成センター建設計画につきましては、国の補助事業が認可され第一年度の建設計画分は予定通り進行しており、秋頃には哺育牛の預託が稼働する見通しとなつております。

農業情勢につきましては、昨年秋季以降新型コロナウイルス新規感染者数が激減し始めたことで、緊急事態宣言は全国的に解除され、観光事業と外食産業の景気が回復傾向となりましたが、原油を始めとしてあらゆる資源の引き合いが世界的に強まった事で、石油製品・肥料・農薬・配合飼料・ビニール資材と、生産資材が値上がりしており、今年の営農計画樹立では節約を迫られる状況が予想されます。4年度の加工原料乳生産者補給金の単価・交付対象数量は全て据え置きでの決定となりました事は、今の情勢を考慮すると満足とは行きませんが、脱粉の出口対策に予算が付いたことは実質的にプール乳価に反映されます。生乳の生産抑制については、令和三年度生産目標数量に対して、新規枠・拡大枠を含めて一〇％で設定されました。この事は、生産者全員で協力して取り組む事となつておりますので、ご理解の程宜しくお願いいたします。また、甘味料の需要減少による国産砂糖在庫の増加と、砂糖調整金収支の赤字など課題がございますが、甜菜は輪作体系に欠くことのできない重要な作物でありますので、組合長会・中央会が中心となつて、生産者が混乱するような事にならないよう農水省と継続協議して参ります。

一昨年九月に誕生した菅政権はわずかな一年で幕を閉じ、岸田文雄首相が昨

年十月に誕生しました、岸田首相は「成長と分配の好循環と、コロナ後の新しい社会の開拓」がコンセプトであると冒頭発言で述べており、明るい未来の経済が現実のものとなるよう期待するところです。

昨年第三〇回JA北海道大会が開催され、目標とする将来ビジョンを「北海道550万人と共に創る「力強い農業」と「豊かな魅力ある地域社会」として採択されました。「力強い農業」とは、安全安心な農畜産物の生産と安定供給を通じて国民・道民の豊かな食生活に貢献する事と、地域社会・経済を支える基幹産業としての役割を發揮し次代に継承できる持続可能な産業にする」とされています。また、「魅力ある地域社会」とは、北海道農業やJAの意義役割が伝わり、安全安心な農畜産物が評価され選ばれる農業・JAとなり、生産者・消費者・地域住民・他産業が相互に連携しながら地域農業の魅力を生かした地域づくりに貢献するという考えが込められております。北海道農業が産業構造に欠くことができないものである事を誇りに、組合員役職員が一丸となつて取り組んでいく事が重要であります。

結びになります。今年度の干支は壬虎です。「陽氣を孕み、春の胎動を助く」、冬が厳しいほど春の芽吹きは生命力に溢れ、華々しく生まれる年になるといふ謂れがあります。この謂れにあやかり、天候に恵まれ災害がなく本年が豊穡の年となること、新型コロナウイルスの一日でも早い終息と、組合員家族の皆様のご健康と家内安全、絶対無事故を心よりご祈念申しあげ、新年の挨拶いたします。



酪農専門部会			ビート専門部会			ブロッコリー専門部会			玉葱専門部会		
代表	石田 佳宏	〃	代表	秋葉 宏之	〃	代表	藤井 勝美	〃	代表	山田 忍	〃
常勤	佐藤 直行	〃	常勤	緑川 将仁	〃	常勤	大泉 隆喜	〃	常勤	三品 雅敏	〃
監事	馬場 秀人	〃	監事	名取 浩二	〃	監事	相田 幸博	〃	監事	中川 隆司	〃
参事	岡村 貴幸	〃	参事	林 秀和	〃	参事	相田 幸博	〃	参事	中川 隆司	〃
職員	城岡 克利	〃	職員	吉田 義巳	〃	職員	相田 幸博	〃	職員	中川 隆司	〃

新しい年を迎えて

網走農業改良普及センター遠軽支所 支所長 小川 邦彦



新年明けましておめでとうございます。令和四年の新春を迎えるにあたり、謹んでお慶び申し上げます。

農業者、関係機関の皆様には平素より農業改良普及事業の推進に對しまして深いご理解とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

さて、昨年の本道農業を振り返りますと、気象経過では六月下旬から七月にかけて近年にない高温少雨の期間が続ぎ、飼料作物を始め多くの作物の生育に影響がでました。台風などの影響は少なく災害も無く経過しました。

一方、府県に目を向けると七月から八月にかけて西日本から東日本の広い範囲で記録的な大雨が相次ぎ、各地に大きな農業被害をもたらしました。被災地、被害に遭われた方々にお見舞い申し上げるとともに、一日も早い復興、経営再建をお祈り申し上げます。

JAえんゆう地域の気象経過と農作物の作況を振り返りますと、春先の気温は平年並みに推移しましたが、その後八月上旬まで高温の日が続きました。降水量は六月中旬までは平年並に推移しましたが、その後は小雨となり、特に七月は記録的な小雨となりました。日照時間は年間を通して平年より多い状況が続きました。

作物別にみまると、秋まき小麦の生育はほぼ平年並みに推移しました。七月以降の好天により登熟が進み、病気の発生も少なく、収穫作業は平年よりも早まりました。子実収量は平年よりも高かったものの、歩留りはやや低い結果となりました。

てんさいの移植、直播栽培のは種作業はやや遅れたものの生育はほぼ平年並みに推移しました。その後、高温少雨の影響を受け、収量・糖分ともに平年を下回りましたが、かん水実施地区では平年を上回る結果となりました。

たまねぎの移植作業は順調に進み、活着も良好でした。気候が高温少雨傾向で推移したため、干ばつ気味となり連日かん水が行われました。本年はかん水施設の有無により、品質や価格に大きな差が出た年となりました。

収量は平年よりも下回る結果となりましたが、病気の発生が少ない年となり、品質は良く、製品歩留まりは高い結果となりました。

飼料用とうもろこしについては、は種時期は晴天に恵まれ、は種作業は順調に進みました。その後、夏場の高温少雨により茎葉の生長は停滞しましたが、子実の登熟は進み、収穫作業も平年より早く進みました。生収量は平年

の七割、TDN収量は平年の八割となりました。

牧草（一番草）の生育は平年並みに推移し、収量も平年並みを確保できました。二番草については高温小雨の影響で、収量は四割程度となりましたが、年間を通して平年の八割程度の収量を確保することができました。

農業をめぐる情勢では、農家戸数の減少や高齢化、労働不足などの課題に加え、新型コロナウイルス感染拡大による、農畜産物や加工品の需要の低下が続いています。また、資材や燃料等も高騰しており、今後の農業経営にとって不安材料も多くあります。これを機に改めて経営内部の見直しを行い、生産口スをなくし、さらなる経費の削減に取組み、所得を確保していくことが重要になってきます。

近年多発する気象変動による作物の生育や家畜の管理に対する対策も強化する必要があります。

普及センターとしても生産者や関係機関の皆様と連携し、経営の安定と地域の農業振興を目指した取組を積極的に進めてまいります。

最後になりますが、本年の豊穡の秋とご家族の皆様のご健勝をお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

小麦専門部会

部会長 岡村 英巳
副会長 佐藤 弘朗
" 前島 英樹

南瓜専門部会

部会長 中川 悠一
副会長 笹原 仁

農機推進委員会

部会長 石田 昭夫
副会長 工藤 隆宏

えんゆう農協青年部

部会長 長谷川 雄基
副会長 松浦 慶太
" 小崎 光

えんゆう農協女性部

部会長 北村 広子
副会長 松田 美由紀
" 阿部 フサ子



令和4年の年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会 代表理事会長 小野寺 俊 幸



新年あけましておめでとうござい
ます。

組合員並びに役職員の皆様には、コ
ロナ禍にあつてもその苦境にも負けず、
日々営農に更に邁進されておられるこ
とと存じます。

また、地域農業の振興や地域社会の
発展に向け、日頃より多大なご尽力を
されていることに對しても、改めて敬
意と感謝を申し上げる次第であります。

昨年の北海道農業につきましては、春
先は天候に恵まれ順調に推移したもの
の、7月～8月にかけての長期間の猛
暑や少雨による干ばつ、また、9月に
発生した雹や大雨により、一部の地域
や作物によっては、生育が大変、心配
されたものの、おおむね平年作を確保
することができました。

しかしながら、一昨年から引き続き、
新型コロナウイルスとの戦いが長期化
し、今までの日常とは大きく変化した

1年でありました。農業分野において
も例外ではなく各種イベントの自粛、
外食の需要減少等の影響により、各作
物の消費に大きな影響が出ています。

今後は作物ごとの実態を踏まえた、
国産・道産農畜産物の需要喚起・消費
拡大を図るとともに、外国人技能実習
生が入国にも影響があり、農作業の人
材確保にも大きな課題となっておりま
すので、北海道、全国連とも連携し、
JAグループ北海道としてしっかりと
その対応を図ってまいります。

昨年は第30回のJA北海道大会を開
催し、「北海道550万人と共に創る
『力強い農業』と『豊かな魅力ある地
域社会』の達成」という将来ビジョン
が決議されました。

コロナ禍やデジタル化への対応、S
DGsへの貢献、信用・共済事業をは
じめとしたJA経営を取り巻く事業環
境への対応など、北海道農業、JAグ

ループ北海道を取り巻く環境が急激に
変化しており、このような環境に適応
していくには、改めて、協同組合運動
の原点である「対話」を通じて、実践
方策を設定し、実践と改善をくり返す
ことで、変化の波をJA運営に取り込
んでいくことが必要であり、組合員・
役職員が一丸となつてしっかりと取り
組んでいくことが重要となります。

結びになりますが、本年は壬寅年で
す。十干の「壬」は陽気を下に宿すと
いう意味を持つており、生命の誕生を
宿す意味を表します。一方、十二支の
「寅」にも壬と同様で、草花が伸びよ
うとする状態を表しています。この謂
われにあやかり、本年が豊穰の年とな
ること、新型コロナウイルスの1日も
早い終息と皆様のご健勝をご祈念申し
上げ、年頭のご挨拶といたします。



新しい年を迎えて

JAえんゆう青年部

部長 長谷川

雄基



新年あけましておめでとうござい
ます。

令和四年の新春を迎え、青年部員
ならびに農業関係者の皆様には心よ
りお喜び申し上げます。

昨年は一昨年から続く、新型コロナ
ナウィルスの影響による外出自粛、
それによる農畜産物の消費量減少が
心配されていました。ですがワクチ
ン接種が進むにつれ感染者の減少、
オリンピック開催後から徐々にです
が普段の暮らしが少し戻ってきたよ
うに感じます。

農作業では、春からの順調な植付
け、その後の全道的な高温・干ばつ
により北海道の農産物に大きな被害
をもたらしたことで、肥料・飼料・燃
料の価格高騰も重なり、今後の営農
にも大きな影響を与える不安があり
ます。

青年部の活動としましては、例年
実施していた事業を中止ではなく、
コロナ禍でも何とか実施しようと、

参集範囲を限定し活動しました。上

湧別小学校では複式学級となつて初
めての農業体験学習でしたが、休校
時期を避け無事に収穫を終えること
ができました。他にも8月には遠軽
町協力のもと、遠軽中学校教員1名
が小崎副部長の農場にて玉葱収穫・
ドローン体験をした農村ファームス
ティを、11月には人数を絞った中で
行われた、青年部大会での関口部員
による純農ボーイオーディションP
R動画、一昨年の緊急事態宣言によ
り中止を余儀なくされた農協職員と
のスポーツ交流会の開催と、困難な
状況下ではありましたが、青年部員
農協職員との繋がりを実感できた1
年でした。今後何が出来たのか、
模索しながら力を合わせ乗り越っ
ていければと思います。

最後になりましたが、本年も関係
機関各位、および部員各位の一層の
御支援と御協力をお願い申し上げ、
新年の御挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

JAえんゆう女性部

部長 北村 広子



新年あけましておめでとうござい
ます。

令和4年の新春を迎え、女性部員
ならびに、御家族の皆様には心より
お喜び申し上げます。

農協をはじめ、各農業機関、組合
員の皆様には、日頃より女性部活動
に御理解と御協力を頂き、感謝申し
上げます。

昨年は、オリンピックの年でした
が、本来ならば世間的には盛り上が
りをみせる所ではありましたが、新
型コロナウィルスの感染拡大でテレ
ビの前で応援という新しい形となり
ました。会議などもウェブで開催さ
れる事も多くなり、人と人とが直接
会う機会も減ったかの様に思います。
感染拡大で、テレワークなど新し
い仕事の機能なども定着し、いろい
ろ世の中は変わりつつあると感じま
す。

食の生産現場で働く私達農家は、
生活そのものは変わりありませんで
したが、観光・外食産業・医療機関
で働く皆様にとっては一昨年に引き
続き大変御苦労されたかと思ひます。

女性部活動では、年度初め総会が

書面決議となり、部員の皆様には、
今までに無い事で私達役員も手探り
の状態ではありましたが、部員の皆
様の御協力もあり無事終了すること
ができました。合同役員会は時期を
ずらしての開催で、まだ大変なコロ
ナ禍ではありましたが、今年こそは
活動できる様に願い、計画しました。
秋になると状況は落ち着き、私達
の思いもあり、少しずつではありま
すが、活動を再開できて嬉しく思ひ
ます。

まだ安心して生活するには不安な
世の中ではありますが、私達にでき
る予防・対策等を講じて活動してい
きたいと思ひます。

生活していく上で農業という職業
の大切さと誇りを持ち、部員の皆様
も農作業に取り組んで頂きたいと思
ひます。

本年も引き続き、各関係機関の皆様
には、女性部への御指導と御協力を
お願い申し上げ、新年の御挨拶とさ
せて頂きます。

一日ホクレンが開催されました

12月14日、ホクレンが農協や生産者間との意思疎通・連携強化を目的とした「一日ホクレン」が開催され、JAえんゆうより関口哲治組合長をはじめ理事・青年部・女性部・役員合わせて21名、ホクレン北見支所より谷一弘支所長はじめ各課課長ら合わせて9名が参加しました。



一日ホクレンの様子



短い時間の中
多くの意見が交わされました

関口組合長、谷支所長の開会挨拶後、各課担当課長からホクレン各事業の取組内容や、昨今の情勢、対策について説明がありました。
説明後、質疑応答・意見交換が行われ、飼料や乳製品などについて様々な質問や意見・要望が挙がり、盛会のまま終了しました。

初夢

季節の室礼(しつらい)

和文化講師●滝井ひかる

新しい年が始まりました。

初夢はもう見ましたか？ いつ見るのが初夢なのでしょう。現在は元日の夜、2日の夜、または新年に初めて見た夢のことを指します。

昔は立春を新年としていたので、節分の夜から立春の朝にかけて見る夢が初夢でした。

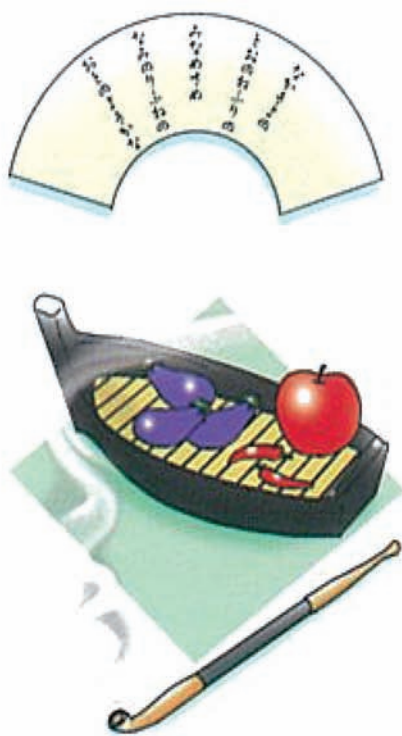
縁起の良い初夢を見るには、「長き夜の遠の眠りのみな目覚め波乗り船の音のよきかな」という回文(上から読んでも下から読んでも同じ文)が書かれた七福神の乗った宝船の絵を、枕の下に置くと良いといわれています。

縁起が良い順に、「一富士、二タカ、三ナスビ」とされますが、続き

があるのを知っていますか？「四扇、五たばこ、六座頭」と続きます。

扇は末広がりで、たばこは煙が上っていく様子、座頭は剃髪(ていはつ)しているのが毛がないIIけががないことから縁起が良いのだそう。

新年の室礼には、その年の干支(えと)の置物や、羽子板やたこなど正月遊びの道具、華やかな正月花がありますが、初夢にちなんだ飾りはいかがでしょうか。一富士に掛けてふじりんごを一つ。二タカに掛けてタカノツメを二つ。三ナスビにかけて小ナスビを三つ。郷土料理に見られるナスの砂糖漬けもかわいらしいですよ。さらに扇や昔のきせるも一緒に飾れば通好みですね。



ブッタナッツのフラワーアレンジを体験 女性部フレッシュジュミズ合同研修会

12月6日、JA女性部フレッシュミズはJA本所会議室にて合同研修会を開催し、講師にyomiyama（ペントリー）の市川氏を招き、ブッタナッツを使ったフラワーアレンジを体験しました。

ブッタナッツとは、インドやミャンマーに自生している木の実で、仏陀の頭の形に似ていることから、「幸せを呼ぶ実」と呼ばれています。中にドライフラワーや木の実を入れる



花材を選ぶ部員たち
どんな花・色を使うか悩んでいました



色とりどりのブッタナッツができました

事で、贈り物やインテリア雑貨にもなります。

参加した部員は、細かい作業に悪戦苦闘していましたが、講師からアドバイスを受けながら次第にコツを掴み、ブッタナッツに色とりどりの花を入れていました。

完成後は写真撮影や部員同士で互いに見せ合うなど、有意義な研修となりました。

オホーツク管内にある2施設を見学 女性部畑作部会研修

えんゆう女性部畑作部会は、12月10日に研修会を実施し、部員19名でJAきたみらい玉葱集出荷施設（北見市）と、オホーツクビーンズファクトリー（大空町）を見学しました。JAきたみらい玉葱集出荷施設は、令和元年に建てられた国内最大規模の玉葱集出荷施設であり、北海道産の約40%を占めるきたみらい産玉葱の出荷拠点の1つとなっています。



トリックアートの前で記念撮影
(きたみらい玉葱集出荷施設にて)

当日は選果作業の様子を見学させて頂き、きたみらい産の玉葱が効率よく選果・出荷されていくのを間近で見ることができました。

北見市内で昼食を取った後、オホーツクビーンズファクトリーへ移動。会議室で工場の概要や豆類の選別方法について説明を受けた後、選別中の様子を見学させて頂き、オホーツク産の豆類がどのように選別・出荷されていくのを見ることができました。

参加した部員たちは、道中久しぶりの町外研修で互いの近況を報告し合うなど、楽しい一日を過ごしました。



選別機の前で説明を受けています
(オホーツクビーンズファクトリーにて)

一日皆貯金 当選者発表



【特賞】一万円 (五名)

佐藤 知子・池田 真弓・佐藤真之助
森谷 百花・田村 純也

【金賞】五千元 (十五名)

峯田 智紀・深見 輝美・平井 紀美
中西 藤江・河村 美代・三浦 敏
大江 栄子・佐藤 洋子・秋葉江里子
笹原 仁・井上久美子・野口 貴英
平塚 道浩・安立 孝之・野口 幸子

【銀賞】三千元 (三十五名)

水野より子・松田 信一・佐々木公子
平野 道子・牧野 俊介・石田英美子
細川小夜子・馬場 智江・木村 新市
平野 俊幸・上松咲穂奈・馬場 咲子
和田 玲・石田 則夫・牧野 瑠葉
天野 茂・上田 カズ・加藤富士子
中川 維都・和田ゆきえ・寺西 洋子
箭内 彩・山崎 保子・森谷 佳純
秋葉 浩・原田萌衣花・笹原 礼子
前島 英資・吉田 夏美・新野尾伸一
宗原 朋子・高栖絵都乃・渡辺 郁子
野口 輝明・田村 順二

【銅賞】一千元 (百名)

長谷川美香・森谷 貴子・馬場 渚
花木 彩音・角田よし子・竹内 昭則
中川 秀子・舟山ことね・萩原 道子
池田 輝男・稲田 陽子・吉村 智之
斎藤三千代・野田 秀子・三品 幸義
清水 琉偉・平野由美子・狩野 邦子
森谷 大勝・木村 喜代・石田ゆみ子
松田 大夢・吉野タツ子・長谷川 清
中川 静子・山内三津子・矢久保正信
城岡 幸枝・安藤 一佳・狩野 智弘
吉村美智子・馬場 恵・竹内 裕汰
清水 掌・伊藤たま子・平井 真紀
岡村優美子・鈴木 光枝・天野 千秋
鹿野内 駿・細川 正美・青柳 洋子
長谷川雄基・稲田 由美・小畠 文子
高柳 雅一・天野カズ子・林 正幸
寺西 正信・市原 希美・澤口 久美
佐々木節子・松浦 紀之・藤井 正博
加藤 和美・澤口 豊・野村なおみ
牧野 正俊・杉山 たつ・平井千江子
原田 英範・大塚 幸夫・伯谷美紀子
高橋 明子・小石澤佳奈・小倉 福子
村上 睦子・青木 愛美・山口 蔵壘
岡村 芽来・原田 真翔・遠藤 忠義
吉田 圭汰・神田 洋子・大塚 汐莉
永井あゆみ・高橋 孝子・野田 唯葉
川口真由美・(有)岩城農場・高栖 昂央
加賀屋桜子・上野 知代・栗野 和久



莊司 由明・吉田 隼汰・村田 美佳
関東 秀子・佐藤 恵・林 伸丈
古澤姫登美・工藤たか子・西原 勝義
平塚由美子・高橋 玲子・益山 藍瑠
延原 勇作・大辻 等則・片倉 和三
阿部 治彦

(順不同・敬称略。お名前に誤字等ございましたら、ご了承願います。)

当選された皆様、大変おめでとうございます。賞金につきましては、一月末日までに貯金口座に入金いたしますのでご確認ください。また、当選された方にはあらためて文書にてご通知申し上げます。

当JAは、今年も皆様のお役に立てる金融機関として貯金業務はもちろん相談業務充実をはかり、皆様のご利用をお待ち申し上げております。

賀正



昨年中はご愛顧を賜り
厚く御礼申し上げます。
本年も旧に倍しての御愛顧の程
宜しくお願い申し上げます。
社員一同、皆様の御用命を
心よりお待ち申し上げます。
令和四年 元旦

株 ジェーエーえんゆう
燃 料 事業部
農機・整備 事業部
エーコープ 事業部

令和4年度 営農計画作成支援日程

本所（会場：本所 大会議室）・遠軽地区（会場：遠軽支所 大会議室）

日程	曜日	午前9時～午後12時	午後1時～午後4時
1月17日	月	開盛・札富美・旭	
1月18日	火	富美・上富美	
1月20日	木	北兵村二区・三区	北兵村一区
1月21日	金	屯田市街地	南兵村二区
1月24日	月	南兵村一区	南兵村三区
1月25日	火	千代田・社名淵・美山・若松・学田・向遠軽・豊里・清川	
1月26日	水	栄野・瀬戸瀬東町・湯の里・瀬戸瀬西町・若咲内・丸瀬布地区	

※協議日程の都合が悪い方は、別会場・別時間でも参加可能です。
但し、別会場希望の方は、事前に担当者までご連絡お願い致します。
尚、日程が変更になる場合は、都度連絡申し上げます。

●白滝・生田原地区につきましては、1月7日以降、個別にご連絡させていただきます。